

SMP*4*BIKE
P R O F E S S I O N A L

S E L L E
SMP

JAP



保証について

Selle SMPは当商品に対し、レシート、あるいは最終販売店や販売員が発行した税務書類に記載されている購入日より24ヵ月間の保証期間を設けております。購入された商品の明細が、これらの書類に記載されていることが条件となります。

保証対応としての作業は、製造過程の中で生じた欠陥があると認められた部品の無料修理または交換のみが対象となります。

サドルを同一製品または同等の仕様を備えた別の製品との全面的または部分的交換を行うかについての決定は、Selle SMPに一任されるものとします。また、修理や交換が行われた後に保証期間が延長されることはありません。

以下の場合には保証の対象外となります：

- 摩耗した部品
- 不適切な操作や、不注意、および誤った使用や取り付けに起因する損傷
- 不適切な使用方法、あるいは取り扱い、取り付け、およびメンテナンスに関して説明書に記載されている注意事項に従わない使用方法に起因する損傷
- 製品の機能に支障のない、外観の小さな欠陥
- 製品とは無関係の外部的事象に起因する損傷

Selle SMPによる認可を受けていない人物による不適切な操作、分解、修理、およびその他のあらゆる作業、または当書類に記載されていない内容全般に関しては、保証は適用されませんのでご了承ください。

当保証の内容に関する変更は一切認められません。解釈にあたり疑問が生じた場合は、このマニュアルのイタリア語の原文を参照していただく必要があります。紛争に関しては、いかなるものも例外なくイタリアのパドヴァ裁判所のみが司法権を有するものとします。

注意書き

注1：摩耗した部品の交換作業はSelle SMPに一任された決定のもとに実施されるものとし、購入日から3年が経過しているものについては、いずれの場合も交換対象外となります。このような部品への作業費用は、いかなる場合も利用者様のご負担となります。

注2：製品表面の変質や色落ちは、使用頻度が比較的低い場合も含め、製品の使用やさまざまな環境条件から受ける影響により自然に発生したものとされ、保証の対象にはなりません。このような現象は、特に明るい色（ホワイト、イエローなど）の製品に多く見られます。

注3：Selle SMPの全製品は、UNI EN 4210-9、UNI EN 4210-3、UNI EN 4210-2、UNI EN 16054、およびUNI EN ISO 8098の規格により規定されている範囲と条件にもとづいて検査と保証が行われます。

注4：記載されている値との重量差が±15%の範囲である場合、部品が職人の手作業により作られたことに起因するものであり、製品は正常の状態であるとみなされます。



Selle SMP のサドルをお買い上げいただき、ありがとうございました。弊社は1947年から変わらぬ入念さと情熱でサドルを製造し続けています。お手元のサドルは、考案、設計、製造のすべてをイタリア国内だけでおこなった結果、生まれたものです。弊社がそのサドルを自慢することをお許しください！

お客様に完全に満足していただけるように製品には万全を期しておりますが、何かお気づきの点やご意見がございましたら次のサイトからご連絡ください。

www.sellesmp.com

フランコ・スキアヴォンと
マウリツィオ・スキアヴォン

100% Handmade in Italy
GUARANTEED

IT

GB

DE

FR

ES

NL

JAP

KR

CHI

(体に合わせたデザイン)

悩みの種はサドルに当たる部分!

男女を問わず、サドルに当たる部分に痛みや問題を抱えているサイクリストは多いものです。

SMP4BIKEで悩みを解消!



支持エリア

人間工学の緻密な研究の成果が取り入れられています。サイクリストの重量を骨盤の骨構造(坐骨結節)と臀筋との間に正しく配分して支えます。コンディションの悪い路面を走行することによる衝撃から尾てい骨を守ります。



サドル圧力緩和エリア

このエリアは後部から先までサドルの長さ全体に配分されています。サイクリストがどのような姿勢を取っても、デリケートな会陰組織を圧迫せず、静脈、動脈、毛細血管の循環を妨げたり、神経障害を引き起こすことがありません。

4つの国際特許

泌尿器科の専門医のチームとの共同開発によるものです。*

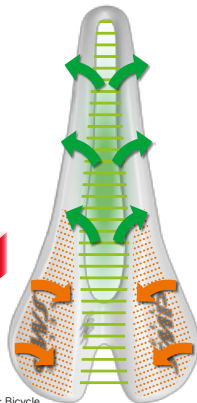
科学的成果

血中酸素供給量

+83%



従来型のサドル



Development of a New Geometric Bicycle Saddle for the Maintenance of Genital - Perineal Vascular Perfusion
The Journal of Sexual Medicine
2005年7月号

* G. Breda 医学博士 - N. Pizzazza 医学博士 - A. Caruso 医学博士: "compresso nel segmento successivo"
(Department of Urology, S. Bassiano Hospital, Bassano del Grappa (VI), Italy 所属)
V. Bernardi 医学博士 (Department of Urology, SS. Giovanni and Paolo Hospital, Venice, Italy 所属);
E. Lunardon 医学博士 (Department of Anaesthesia, S. Bassiano Hospital, Bassano del Grappa (VI), Italy 所属)

サドルの革命

支持エリア

- ✓ 人間工学に基づいたデザイン(特許)
- ✓ 骨盤を確実かつ安定した状態で支える
- ✓ 関節への負担を低減
- ✓ パワフルなペダリング
- ✓ エネルギーの浪費が少ない

後部のくぼみ

- ✓ 人間工学に基づいたデザインで尾てい骨を保護

センターチャンネル

- ✓ 人間工学に基づいたデザイン(特許)
- ✓ 会陰部や前立腺のあるエリアへの圧力なし
- ✓ 陰部の痛みや不快感なし
- ✓ 神経や血管の構造を保護
- ✓ 血液が豊かに循環
- ✓ より強い筋力でスムーズな動作
- ✓ 陰部の通気性に富む

「鷲のくちばし」のようなノーズ形状

- ✓ 人間工学に基づいたデザイン(特許)
- ✓ 低位置でも快適
- ✓ サドル先端の前乗りも思いのまま
- ✓ 生殖器官への圧迫なし

レール

- ✓ 特許取得のデザイン
- ✓ 幅広い調節が可能
- ✓ サイド方向の優れた安定性
- ✓ 高耐久性
- ✓ 振動をしっかりと吸収



取り付け方

1・一般原則

弊社のサドルは体重を臀部と骨盤下部の骨に分散するように設計されています。

体重の分散とすわり心地の良さは自転車走行中に坐骨結節がどのようにサドルに支えられているかに影響されます。その位置はいくつかの要因により決定されます。

- ペダルからのサドルの高さ
- サドルからハンドルバーまでの距離
- サドルの傾き

サイクリストは自らの体型にあわせてこれらのパラメータを調整します。優れた調整結果を得るためには、以下の説明にあるステップにしたがってサドルを取り付けることが大切です。

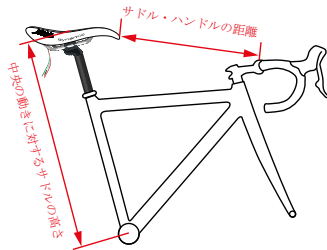
2・最初の位置定め

新しいフレームへの取り付け

自らの体型に基づいて、自転車メーカーが推薦するハンドルバーまでの距離と高さを守りつつ、サドルを置きます。

旧サドルの交換

1. ハンドルバーから旧サドルまでの距離を測定します
2. ボトムブラケットから旧サドル上面までの距離を測定します
3. 新しいSMPのサドルを上記の測定値を基準にして置きます



3・気泡管水準器で確認

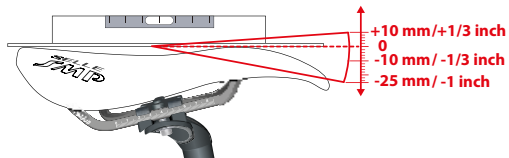
小さな気泡管水準器を使って、サドルが水平になるようにサドルクランプを動かして調節します。



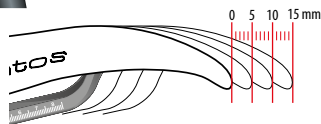
4・微調整 (路上テスト)

上記の説明にしたがってサドルの位置定めを終えたら、路上で実際の「感触」を試しながら、完璧なバランスのあるすわり心地が得られ、サドルの形状と自らの坐骨結節がぴったりとフィットするまで、アーレンキーを使ってサドルクランプを動かして調整します。

サドルノーズの傾きは+ 10 mm ~ - 25 mm の範囲で変更できます。



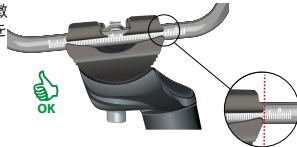
ノーズ先とハンドルバー
の距離は、5 mm、
10 mm、15 mm 間隔
で短くすることができます。



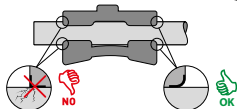
5 • サドルシートを選ぶときの注意

サドルシートはサドルフレームの耐久性に大きく影響します。このような理由で、Selle SMP は次のような特徴を持つサドルシートを選ぶことを推奨します。

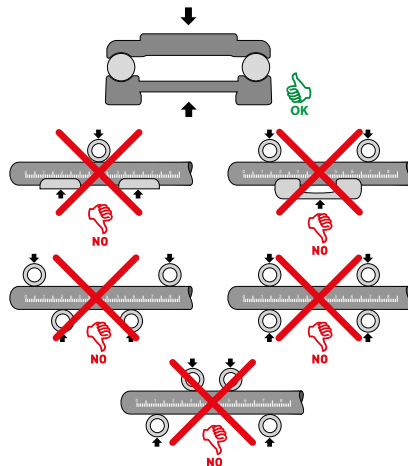
1. サドルの適正な位置定め
を可能にする



2. サドルフレームの耐久性を損なう
ような角ばった形をした隅が
ない

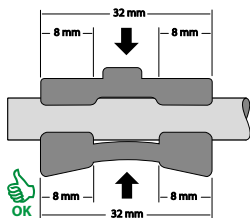


3. クラмпは、十分な面積で接触して適正なカップリングとなるように、サドルフレームの外形表面を同じ形状を持つ

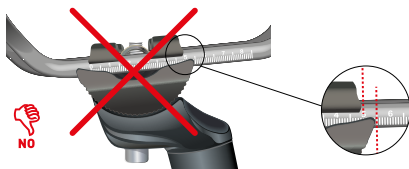


4. サドルシートとサドルフレームの接触面積が 8 cm² 以上である

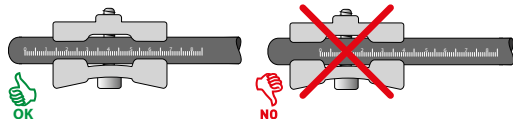
5. クラмпはサドルフレームと 32 mm 以上の長さで接触する



6. サドルフレームとのカップリング表面が左右対称で平行である



7. クランプがサドルフレームを変形させたり、損傷したりすることがない
8. サドルシートのクランプが目盛りが付いている範囲の外に出ない

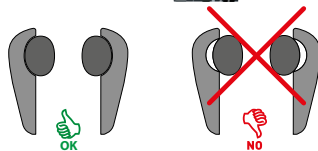


9. サドルシートの製造メーカーが推奨する締付トルクが厳格に守られている
10. サドルシートが、ヨーロッパ標準規格であるシートポストが、ヨーロッパ標準規格であるの規定に適合している必要があります
UNI EN 4210-9, UNI EN 4210-3, UNI EN 4210-2, UNI EN 16054, UNI EN ISO 8098.

サドルシートの追加要求事項

カーボンファイバー製フレームのあるサドル
(フルカーボンおよび CRB バージョン)

11. サイド取り付け式サドルシートについては、取付け部に 7.1 x 9.0 mm の断面を持つカーボンファイバー製フレームをしっかりと取めることができる、適正な面積と形を持つクランプを使用しているもの



さらに詳しい説明はサドルシートの製造メーカーの取扱説明書を参考にしてください。

メンテナンスと点検

お買い上げの SMP サドルに小さな表面的欠陥がある場合、それは職人が製品を入念に手で仕上げたことを示す最高の証明です。表面的な変質や色落ちは、限られた使用で発生した場合でも、使用やさまざまな環境条件にさらされることによる自然な成り行きと考えられるべきものです。特殊なタイプの発汗やただれ防止クリームは上皮を損傷することがあります。

上皮のメンテナンス

- クリーニングには、湿らせたセーム革または Selle SMP が推奨する製品を使用してください。
- 洗剤や高圧噴射水を使用しないでください。
- 特異な発汗がある場合でしかもデリケートゾーン用のケア製品を使用している場合には、汗がズボンの股布からサドルへと移ることがあります。このような現象が起こると、サドルの表面にダメージが生じ、サドルの表面とクッション材およびクッション材とシェルの間にある接着剤が劣化することがあります。そのため、デリケートゾーン用のケア製品は控えめにお使いください。
- マウンテンバイク、オールマウンテンバイク、ダウンヒルバイク専用の摩擦力の高い素材（コーデュラなど）を使ったショートパンツを着用すると、サドルに異常な磨耗が生じることがあります。
- キズの耐性を強め、製品の寿命を長くし、サドル上皮を清潔に保ちながら保護するために、SMP Saddle Leather Wipes シートを定期的に使用することを薦めます。

この注意を怠るとサドルの上皮を傷めることがあります。

安全性の点検

- サドルシートの固定装置が緩んでいないかどうかを定期的に点検し、必要があれば適正に締め付けてください。
- サドルのレール（メタルフレーム）と基盤（プラスチックフレーム）に動く部分や隙間がないかを定期的に点検してください。動く部分が見られる場合は使用を中止し、Selle SMP の販売店にご相談ください。
- サドルからきしむ音がする場合は、念入りにクリーニングし、サドルシートとのカプリング部分にグリスを塗布してください。
- サドルに目に見える破損がないかを点検し、ある場合は使用を中止してください。
- カーボン製のパーツに破損がないかを点検し、ある場合は使用を中止してください（軽度の磨耗や外部の透明塗料に見られる気泡は製品の安全性や機能に問題を起こすことはありません）。

使用限度

Selle SMP は技術、臨床の点で市場で最も進んだサドルを製造しています。しかし、どのようなサドルであろうとも、短い使用期間であっても不適正に使用すると損害を引き起こす可能性があります。

製品の性質上、その寿命は主として使用条件に左右されます。走行キロ数、路面の状態、天候や気候、使用者の身体的・生体力学的特徴が、製品の寿命の長短を左右する主要要因となっています。磨耗の状態に関係なく、15,000～20,000 km を走行した後は製品の交換をすることを推奨します。

サドルの使用のしかたに関係なく、破損の疑いや確認がある場合は、サドルを交換する必要があります。

注意

注意

お手持ちの自転車に取り付けた後は本製品を細心の注意を払って使用し、添付の説明書の指示にきちんとしたがって取り扱ってください。

- 不適正な取り付けは健康に危険を及ぼす可能性があります。
- Selle SMP の製品は身体・精神が良好な状態で使用してください。
- Selle SMP の製品を不注意で使用してはいけません。
- Selle SMP の製品を使用中のお客様自身および周囲の人々の安全はお客様の責任となります。

一般的な注意

Selle SMP の本製品の使用者は、事故や重傷または致命傷の原因となる可能性があるサドルの破損も含めた、交通手段に関係したリスクのすべてを確認し、承諾するものとします。

本製品を使用することで、使用者は、Selle SMP の不注意や怠慢、隠れた瑕疵、潜在的または明白な瑕疵に起因するリスクも含めた、サドルの使用が原因で引き起こされる、自身と第三者における外傷、怪我、死亡の既知または未知のリスクのすべてを確認し、承諾するものとします。

本製品の使用に付随するリスクは、製品に添付されている参考ガイドである取扱説明書の指示にしたがうことでかなり縮小することができます。

さらに、使用者は、損害が発生した場合、法律で定められている範囲内において、Selle SMP およびその代理店や販売店がいかなる責任からも免れていることを承諾するものとします。

安全性

自転車を楽しむ者として、弊社はサイクリングが世界で最も魅力あるスポーツであると確信しています。しかし、サイクリングをすることで、致命的なものも含めた危険に自分自身をさらすことになることを常に意識することが大切です。Selle SMP の製品に関係する危険には以下のものがあります。

- 会陰組織の外傷。
- サドルの構成物やパーツによって引き起こされた外傷。
- 衝突や転倒による、基盤またはフレームの破損と、それによる角ばった部分および尖った部分の形成。
- サドルフレームの固定装置（例えばサドルシート）からサドルが外れること。
- カーボン製サドルは、自転車に使われている他のカーボン製コンポーネントのすべてと同じく、マウンテンバイクに使用されるとリスクを増大させます。

危険の完全なリストを作成するのは不可能です。本製品の使用にあたっての基本的なルールは良識のルールです。本取扱説明書の指示にしたがって取り付け、使用、メンテナンスがされた場合、危険を減少させることができます。



イタリアでデザイン、
イタリアで製造、
世界中で販売



Selle SMP sas - Via Einstein, 5 - 35020 Casalserugo (PD) - Italy
Tel. +39 049 643966 - Fax +39 049 8740106 - info@sellesmp.com
ISO 9001:2015 certified

sellesmp.com

本取扱説明書に不正確な記述が含まれている場合、弊社はいかなる責任も負わないものとし、また、弊社は、必要または有益と判断した場合は、仕様を修正できる権利を保持いたします。
Mod L11 Rev. 2020-01